

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	6
学校名	富山県立滑川高等学校

学校の現状と課題	本校は、海に近く自然に恵まれ、地域からも親しまれる環境にある。普通科、商業科・薬業科、海洋科の4学科が、それぞれの特徴を活かした活動を展開している。また、総合的な探究の時間に生徒が各学科の枠を超えて他学科の講座を選択できる「滑高ゼミ」等を実施している。さらに新しい技術を学び、実践的な活動により経験を積み、地域産業の担い手として一層活躍できるよう取組が必要である。また、普通科の探究は地域との連携を考える必要がある。	
テーマ(特色)	具体的な経験を積み、主体的に深く学び、行動できる人材地域を担う人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	① 薬業科:薬機法における、専門性の高い内容を学ぶことにより、地域の薬業に関わる意識を高めることができた。 ② 商業科:販売実習 模擬株式会社を設立し、姉妹都市の特産品の販売を行うことにより、販売実習経験を積むことができた。また、「店舗運営の実際」の講演から、販売実習における接客のあり方を学んだ。 ③ 普通科、海洋科:1年生の、地域の企業訪問や、課題の発表会を通して、地域との繋がりを再認識するとともに、グループ内で協動的に考える機会が増し、主体的に取り組むことができた。 ④ 普通科:2年生の「滑高ゼミ」では、新しい技術を学び、実践的な活動により経験を積むことができた。また、外部講師から、専門性の高い知識が考え方を学ぶことができた。	
実施内容(具体的に記入する)	① 薬業科:薬の製造と分析について3年間学び、薬の富山を支える人材を育成している。しかし、薬に関する法律(薬機法)について、授業でほとんど扱えないので、専門家を招いて薬機法を学ぶ機会を必要としていたため、北海道大学の非常勤講師で、薬剤師の先生を招き、各学年1時間で、それぞれの学年に応じた内容での特別授業を実施し、薬機法について理解することができた。 ② 商業科:販売実習のための模擬株式会社を設立し、姉妹都市の特産品を販売した。「店舗実習の実際」について、講演を行った。 ③ 普通科、海洋科:1年生全員が、企業訪問を行い、滑川市やその中で営む日常生活、企業活動などから身近な課題を発見し、グループにごとにまとめ発表を行った。この発表会には、市役所の方2名を招き、審査講師に関わっていただいた。 ④ 普通科:2年生全員が、一年間にわたり「滑高ゼミ」の中で、各学科の枠を越えた講座を受講した。また、各講座の中で、専門性の高い講師を招いたゼミもあった。	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	各学科でそれぞれ新技術や考え方を学び、より実践的な活動による経験を積み、地域産業の担い手として活躍できる資質・能力を身につけることができた。 ① 薬業科:地域の製薬会社等に就職するに際し、薬機法に関わる実際に起こった事件を知ることで、必要な法律の知識や、薬業に関わるために必要なことを学ぶことができた。 ② 商業科:10月に地域の産業まつりの中で販売実習を行い、商業科で企画し、地域と連携した商品だけでなく、姉妹都市の特産物の販売を行った。姉妹都市の魅力を発信するとともに、地域の活性化に寄与することができた。 ③ 普通科、海洋科(1年):滑川市の地域課題についてグループで話し合いながらまとめ、発表につなげた。特に、地元企業での課題解決の取組をどのように行っているかを、各自が各々の企業訪問により探究することで、グループ内での協動的な取組につながった。 ④ 普通科(2年):「滑高ゼミ」で学科の枠を越えた授業を受講することで、地域の魅力や可能性を知ることができた。外部の専門家の講演を受けたゼミでは、地域の魅力を全国や世界に発信していく重要性を感じた。  特に、今年度は、普通科にも取組を広げ、1年生では地域課題を発表し、外部に知ってもらうまでに至った。	
対象者(学年・人数など)	薬業科1年37名・2年40名・3年31名 商業科3年39名 海洋科1年28名 普通科1年80名・2年78名	
実施実績	4月	普通科(2年) 滑高ゼミ(4月～3月)
	5月	
	6月	
	7月	商業科 講演会
	8月	
	9月	普通科、海洋科(1年) 地域課題を見つける(9月～3月)
	10月	商業科 販売実習
	11月	
	12月	薬業科 講師を招いて特別授業を実施 普通科、海洋科(1年) 企業訪問
	1月	
2月		
3月	普通科、海洋科(1年) 「地域課題」の発表会	